

皆さんこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

5月11日告示、5月25日投開票のさいたま市長選挙の結果を受けて、市長職に全力投球しています。

市長選挙後に開催されている6月議会対応など、市政運営に関わる様々な案件のうち、特に現下の物価高対応に即応した追加補正予算の編成など、本市独自の取組について検討を進めています。

市議会議員の皆さんからも要望書を頂くなど、市民生活を重視した取組について議論を行っています。

忙しい中であって、市長として課せられた使命と責任の重さを再認識しています。

引き続き、市民生活を足元からしっかりと支えていきたいと思っています。



【プロフィール】

昭和37年3月25日 生まれ
平成21年5月～さいたま市長
直近の選挙では、市内10区全てで
トップの票を獲得する
指定都市市長会 副会長
さいたま市社会福祉協議会 会長
日本サッカーを応援する自治体連
盟 会長
埼玉県市長会 副会長 も務める

Urban 7 市長サミット2025に参加



4月29日、神戸市で開催された「Urban 7（U7）市長サミット2025」へ、指定都市市長会会長である久元喜造 神戸市長と私が参加しました。

当サミットは、阪神・淡路大震災30年の節目の年に海外の主要都市を招聘し、様々な災害への備え・対応・レジリエンス、気候変動対策といったテーマについて意見交換を行う「グローバルカンファレンス」に合わせて開催されたものです。



「神戸グローバルカンファレンス」で議論された、災害への備えや気候変動対策などを通じたレジリエントな社会の構築については、市民に最も近い存在である基礎自治体による取組や政府への提言等が、今後益々重要になると考えます。

「U7市長宣言—建設的な多層的・多国間主義の実現に向けた提案」を踏まえ、今後も、各都市が力を合わせてU7の活動を拡大し、これまで以上にG7と連携していくために、ともに行動して必要を強く認識しました。